

CO<sub>2</sub>をへらすていたんそしゃかい  
低炭素社会このページでは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出をへらす低炭素社会のすがたと、その社会をつくるために商社が取り組んでいる活動を学びます。ていたんそしゃかい  
低炭素社会を歩く

## 商社の取り組み 低炭素社会を実現(じつげん)するために

## ○ クリーンなエネルギーによる発電

世界の国々では電気をつくるときに、そのほとんどを石油、石炭などの化石燃料(かせきねんりょう)を使用する火力発電所(かりよくはつでんしょ)で行っています。しかし、火力発電所はたくさんのCO<sub>2</sub>を排出(はいしゅつ)することから、地球温暖化(おんだんか)を進める原因になっています。商社は、世界で増加しつづける電気の使用量に対応(たいおう)するため、CO<sub>2</sub>の排出がない、あるいは少ないクリーンなエネルギーによる発電を世界中で進めています。



▶ 太陽光発電

▶ 風力発電

▶ 地熱発電

▶ バイオマス発電

▶ 燃料電池

## 風力発電

## 風エネルギーの約40%が電気に変わる!

風のパワーで風車をまわし、回転運動を発電機(はつでんき)に伝えて発電します。風エネルギーの30~40%を電気にできるなど発電効率(はつでんこうりつ)にすぐれています。大規模(だいきぼ)な発電を行う大型風車から、補助的(ほじょてき)な発電向けの小型風車まで、さまざまなタイプがあり、風の方向にあわせて動き、最大限(さいだいいげん)に風をキャッチできるしくみになっています。現在、日本では1,517基※以上の風車が動いています。



※出典: NEDO日本における風力発電の状況

## ■ 日本での風力発電の実施(じっし)数



(クリックで大きくなります)

※出典：NEDO日本における風力発電の状況

### 日本は地形や気候(きこう)条件が課題(かだい)

世界では、[風力発電](#)に取り組む国が増えてきています。2008年から2009年の1年間で世界の[風力発電](#)による電力量は28.8%も増加し、その中でもアメリカ、中国が大きく伸びています。日本でも風力発電は年々増えてきていますが、風の強い場所が、離島(りとう)や山岳地(さんかくち)など傾斜(けいしゃ)の急な場所に多いという問題や、雷や台風などへの対策(たいさく)が必要になるなど、日本の地形・気候(きこう)にあった[風力発電](#)システムの開発が、普及(ふきゅう)への課題(かだい)になっています。

### 商社が行っている「風力発電」

[太陽光発電](#)と同じように、多くの商社が世界各地で[風力発電](#)に取り組んでいます。商社は、日本の電力会社あるいは外国企業(きぎょう)と共同で[風力発電](#)を行う会社を設立し、アジア、アメリカ、ヨーロッパなどにおいて、[風力発電](#)に最適(さいてき)な土地探しから、設計(せつけい)、建設(けんせつ)、運用(うんよう)までのすべてに関わっています。また、それぞれの国や地域の気候(きこう)にあった風車の羽根の開発など、[風力発電](#)装置(そうち)の部品(ぶひん)や材料(ざいりょう)を世界各国の[風力発電](#)会社へ供給(きょうきゅう)することなども行っています。このように世界中で増えつつある[風力発電](#)を、日本の商社のさまざまな活動が支えています。



風力発電(アメリカ)



風力発電(日本)

▲ページの先頭へ